

<p>企画名</p>	<p>手賀沼 de セーリング子どもヨット乗船体験 (柏 No.2)</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人 アルバトロスヨットクラブ 問合せ先 楠 富夫 TEL : 090-7835-6755 Email : kusunoki.tomio@gmail.com ホームページ : http://aycabiko.web.fc2.com/</p>
<p>目的</p>	<p>ヨットでのセーリングを楽しみながら、手賀沼に親しむ機会を提供する。 セーリングに必要なロープワークや初歩の帆走技術を体験する。</p>
<p>日時</p>	<p>2020年8月8日(土) 午前の部 9:00～ 午後の部 12:00～14:30</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>*乗艇前 ・安全についての心得 ・基礎的なロープワーク ・簡易操縦方法 *乗艇中 ・帆走の原理 ・スキッパーとクルーの役割 ・出艇、帆走、着艇等の体験</p>
<p>参加対象</p>	<p>市内居住の小・中学生と保護者。中学生以上は単独参加可</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 79名 (大人 41名、小学生 38名)、運営スタッフ 25名</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">      </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. コロナ感染防止策を最大限実施 (本人確認、体温測定、マスク・フェイスシールド着用) 2. 「三密」を避ける為 親子、家族でAD乗船(スタッフはレスキューで伴走) 3. 穏やかな風の中、家族のみにてのセーリングであった為 会話が弾み笑顔があふれた。 4. 参加者も“楽しかった！面白かった！”の喜びの声が多数聞かれた。 5. 今後は今回のやりかたにシフト検討

<p>企画名</p>	<p>大堀川わくわくウォーキング 源流を訪ね流山史跡を巡る-2</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 大堀川の水辺をきれいにする会 問合せ先 中野 一字 TEL: 090-1208-8680 Email: nakano@road.ocn.ne.jp ホームページ: http://members3.jcom.home.ne.jp/ohorigawa/main/</p>
<p>目的</p>	<p>大堀川河口の我孫子の史跡を巡り、手賀沼を一周して、今後の保全に目を向けていただきたいと企画しました。</p>
<p>日時</p>	<p>2020年9月27日(日) 9:00~13:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>北柏駅・集合～根戸城跡～武者小路実篤邸～船戸の森～中勘助住居～手賀沼公園乗船～手賀沼一周船上見学～手賀沼公園下船～平和の記念碑・解散</p>
<p>参加対象</p>	<p>手賀沼流域の市民</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 17名(大人) スタッフ 11名(会員 名、講師 名)</p>
	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>雨が上がり曇り空ながら程よい天候にも恵まれ、広報に応じてご参加頂いた皆さんと楽しく歩きました。</p> <p>根戸城跡の富沢さんから歴史や保全の姿を聞き、船戸の森の渡邊さんから子供たちも利用できる安全な森づくりの説明でした。</p> <p>武者小路邸を外観し、夏目漱石の弟子の中勘助の下宿先に思いを馳せた後、手賀沼をコロナの関係で2艘に分乗して一周しながら、外来水生植物の繁茂やハスの壊滅が話題となりました。</p> <p>最後に手賀沼公園の平和の記念碑を訪ね、全員で記念の写真を撮影し解散となりました。みなさんご苦労様でした。</p>

企画名	大津川中流域の自然と歴史を歩く
実施団体	団体名 大津川をきれいにする会 問合せ先 奥石邦夫 TEL：04-7193-1916 Email：koshiishigm@gmail.com ホームページ：http://myzbe2010.web.fc2.com
目的	大津川中流域を歩いて自然・歴史を体感し、楽しんでいただく。
日時	2020年10月4日（日）9:30～14:00
プログラム・概要・ルート等	集合：9:30 東武アーバンパークライン高柳駅東口 コース：高柳駅ーかとうの森ー大津川ー長屋門ー福寿院ー善龍寺ー神明社（昼食） ー沼南の森ー慈本寺ー藤心陣屋跡ー逆井運動場ーカタクリ群生地ー逆井駅 解散：14:00 東武アーバンパークライン逆井駅
参加対象	柏市民
参加人数	一般参加 26名（大人） 会員スタッフ 9名（会員8名、外部講師1名）



かとうの森から里山を展望



高柳橋から大津川谷津を展望



斜面林と谷津田の間を歩く



茅葺の福寿院で住職の講話



神明社本殿前で集合写真



沼南の森で落ち葉を踏んで

参加者や実施団体の感想	<p>参加者：①里山の自然と寺社ほか歴史に心行くまで浸れて楽しませてもらった。 ②柏の東南部にこんな豊かな自然と歴史の良い所があることを初めて知った。 ③落ち葉の道・あぜ道を歩いてゆったりした気分になった。 ④大津川をきれいにする会の活動できれいな大津川を見れて感謝します。 ⑤またもう一度来てゆっくり歩いてみたいと思います。</p> <p>実施団体：①出発前の小雨も止んで、後は降られず助かった。 ②大津川中流域の豊かな自然・歴史を体感していただき、楽しんでもらえた。 ③皆さん健脚でスムーズに移動でき、説明も良く聞いてもらえて良かった。 ④マスク・体温測定・消毒剤・ソーシャルディスタンスとコロナ対策も実施できた。 ⑤参加申し込み初日の午前中に募集定員（20名）をオーバーしてしまった。</p>
-------------	---

企画名	手賀沼親子自然観察会－手賀沼用水路で魚とり！（柏）
実施団体	団体名 手賀沼水生生物研究会 問合せ先 半沢 裕子(メールのみ受付) Email: fukuchang23@yahoo.co.jp ホームページ: http://suiken.teganuma.org/
目的	手賀沼の水辺の生きものについて、子どもたちや親に知ってもらう。
日時	2020年10月18日(日) 10:00~12:00 手賀沼 沼南側ヒドリ橋たもと
プログラム・概要・ルート等	<ul style="list-style-type: none"> 鈴木代表から本日の予定、講師の森晃さんからモンドリやガサガサの説明。 モンドリを仕掛ける ⇒タモ網で魚採り ⇒モンドリを引き上げ ⇒魚の分類。 講師の斉藤秀生さん、森晃さんによる解説。採れた魚やエビについて、魚の見分け方、外来種(外国産、国内移入種)はどれか、どこから来たのかなど。 希望者に魚類持ち帰りの準備をし、挨拶、解散。
参加対象	小学生以下は親子参加
参加人数	参加者 32名(大人 16名、子ども 16名)、スタッフ 12名(うち2名は講師) 合計 44名



(左中)森先生の解説、(左下)斉藤先生の解説。(上)さあとろぞ!(中下)ヌマガエルとドジョウ。以上©K Yosuke Fukuoka (左上) このように2卓に分けて開催

参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ対策のため定員をいつもの半分(25名)にし、観察テーブルを2卓に分けての開催となったが、この規模が参加者もスタッフもやりやすいことを再確認した。講師の説明も聞きやすく、質問しやすいという利点も大きかった。 ・テーブルは2卓に分けたが、観察時はどうしても三密になりやすかった。 ・とれた生き物はスジエビがほとんどで、ハゼ類はほとんどとれないなど、生息状況はさらに悪化している印象だったが、それでも19種の水生生物を確認できた。 ・受付開始時間の10月2日午前9:00ちょうどに届いたメールで満員御礼になったが、それだけ熱心な親子が多く、雰囲気の良い観察会になった。 ・確認できた生き物……(魚類)カムルチー、モツゴ、ツチフキ、ギンブナ、タモロコ、メダカ、コウライギギ、トウヨシノボリ、ヌマチチブ、タイリクバラタナゴ、ドジョウ、(その他)スジエビ、シナヌマエビ、テナガエビ、アメリカザリガニ、ヒメタニシ、ヌマガエル、マツモムシ、ギンヤンマのヤゴ
-------------	--

<p>企画名</p>	<p>キノコ観察会</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 特定非営利活動法人“こんぶくろ池自然の森” 問合せ先 北田賢治 TEL: 04-7132-8800 Email: info@konbukuroike.com ホームページ: http://www.konbukuroike.com</p>
<p>目的</p>	<p>こんぶくろ池自然博物公園内には、多様な動植物が生息・生育している。キノコの観察会を通じて自然豊かな公園を知ってもらうとともに、森林保全活動の大切さを伝える。</p>
<p>日時</p>	<p>2020年10月18日(日) 10:00~12:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>《概要》キノコ観察会は、湿地環境の“こんぶくろ池自然博物公園”内の園路周辺に見られるキノコを千葉菌類談話会の大作晃一講師、東京大学の小泉敬彦講師及び会員の川瀬美幸講師とともに観察、学び、採集する。参加者が採集したキノコは散策後に分類し、講師から名前を教えてもらったりキノコに関わる興味深い話を聞いたり、質疑応答を行う。</p> <p>《プログラム》 受付～感染症対策（検温、消毒、マスク確認等）～キノコ採集用具配付～服装チェック～軍手等貸出し～代表者挨拶～観察スケジュール説明～講師紹介～事故防止対策（倒木、枯れ枝、スズメバチ等）～散策・キノコ採集～キノコ分類・同定～終了挨拶～アンケート記入～写真撮影～散会</p> <p>《ルート》キノコ観察会ルートは、当園内の散策路の一部を周回するとともに、特定区域内でキノコを採集する。今回は、感染症防止対策として班分けを行い、班ごとに行動する。</p>
<p>参加対象</p>	<p>一般市民（小学生以下は保護者同伴）</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 22名 （大人14名、幼児3名、小学5名） 会員スタッフ 18名 （会員15名、講師3名）</p>
	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>これまで個人の携帯電話を申込先としていたが、個人情報保護の観点から今回より会宛のメールかFAXのみの先着順（20名）とした。ところが、受付開始時間前の申込みがあったり、受付に関する不手際があり混乱した。結局、受付開始29分で定員に達し、約50名の申込者のお断り対応（事情説明）に追われることとなった。今後、参加者を抽選で決定するなど受付方法の変更が課題となった。コロナ禍の中で屋外で実施するイベントであるが、感染症対策に関しては会員スタッフの中にも相当の温度差があり、イベントの開催自体を疑問視する会員がいる反面、全く問題ないと軽視する会員の言動も気になった。イベントでクラスターが発生した場合の責任はどのように負うのか考えさせられた今年のイベントであった。</p>